

Workshop Report

鳴門市健康福祉交流センター改修工事設計 鳴門市林崎小学校ワークショップ

「みらいのあそびば」をつくろう！



林崎小学校4年生のみなさんと一緒に「みらいのあそびば」を考えました。表現の方法は、図面や絵、折り紙などの模型、体をつかったものなど「何でもOK!」としたところ、私たちの想像を超えるたくさんの成果が発表されました。

この成果を通じて、監修者の仲先生より「設計・運営への反映」として5つのテーマを頂きましたので、ここに紹介します。

- ① こどもが自分たちであそびをつくりだす余地を残す
- ② こどもだけでなく、親の居場所をつくる
- ③ 身近なあそび場では経験できないあそび場をつくる
- ④ いろいろなあそびができる・一人ひとりの個性に合う
- ⑤ こどもが描いた絵をストーリーとともに施設に埋め込む



こどもたちが、その溢れる創造力を刺激する「みらいのあそびば」を通じてエリア全体を体験し「将来も鳴門に住み続けたい!」「いつか鳴門に帰って来たい!」と感じて貰える場所と施設づくりを、こどもたちの創造力と共に、実現できればと捉えています。

開催日時 2025年3月14日(金) 4時間目から6時間目
開催場所 鳴門市林崎小学校 体育館
参加者 林崎小学校4年生の皆さん、大学生の皆さん、鳴門市の皆さん

1 ふせんからの ドローイング！

- ・ 広くて深い
ボールプール
- ・ 落とし穴
- ・ 天井全面ネット
- ・ フードコート
- ・ 徳島の歴史ゾーン
- ・ ハイハイ・ヨチヨチエリア
- ・ まんが本棚

ファシリテーターより

- ・ ひとりからみんなへと考えを深めていきました。
- ・ 全員が案を出してお互い意見を言い合って、フロア全体を想像しながら遊び場を構想していてすごいと感じました。
- ・ 集中力の高い子が多く、みんな水性サインペンにみんな飛びついて、ドローイングを展開しました。



2 ドローイング & 折り紙！

- ・ キリン形のすべり台
- ・ トランポリンの複合
- ・ 花の形のソファ
- ・ 変形する折り紙
- ・ ボールプール
- ・ くるくる回る
- ・ 長いウォータースライダー
- ・ ボールプール

ファシリテーターより

- ・ 小学生同士でおしゃべりしているうちにより良い意見が生まれることがありました。
- ・ 実現不可能ではあるが、私たち学生には考えつかない面白いアイデアがたくさん出てきました。

3 カラフル & 地域密着！

- ・ ボールプールの泉
- ・ ボールプールの川
- ・ トンネルと橋
- ・ かずら橋
- ・ トランポリン
- ・ ふわふわざらざらしたアスレチック
- ・ ラジコンのコース

ファシリテーターより

- ・ ボールプールを作りたいという思いから、川という発想が生まれ、それに加えて徳島らしいかずら橋を加えるという案が混ざり合いました。
- ・ それぞれやりたいことを色々案を出すことが得意であったり、形にして絵として整理することが得意とする子などそれぞれでした。



4 ふせんからのシーソー！

- | | |
|--------|----------|
| ・ すべり台 | ・ 工作スペース |
| ・ 秘密基地 | ・ トンネル |
| ・ シーソー | ・ サーキット |

ファシリテーターより

- ・ 図面上で、どんな遊びがほしいか聞いてみると、遊具名などでふせんに書いてくれました。
- ・ 実際に体を動かして遊んでいる時が一番楽しそうで、そこでやったことを形にする、という方法が良かったです。
- ・ 子どもたちの全力で遊ぶ姿を見て、子どもの身体スケールに合った遊具が作られると良いと思いました。



5 折り紙立体づくり！

- | | |
|--------------|------------|
| ・ すべり台ボールプール | ・ イラスト壁画 |
| ・ シーソー | ・ ケーキの家、穴 |
| ・ トランポリン | ・ ランニングマシン |
| ・ 秘密基地 | (ハムスターの家) |

ファシリテーターより

- ・ 平面図や手元で考えるのは苦手でも、マットなどの方へ行って色々な遊び方を発明するのが上手な子もいました。
- ・ 普段遊んでいる公園や行ったことのある場所の話をととても活き活きとしていました。
- ・ 滑り台のスロープ→傾斜をつけるための柱→滑り切った先のボールプール のように、自分の作ったものから次の着想を得ることで結果としてたくさんの模型を作っていました。

6 動詞→実践！

- | | |
|-----------|--------|
| ・ もふもふダイブ | ・ すべり台 |
| ・ 跳島わり | ・ 洞窟潜り |

ファシリテーターより

- ・ 紙の上で考えている間は、自分が遊んだことのあるものをアイデアとして出していたが、実寸大で形造って行く工程の中で、たくさんのアイデアが出て来ました。
- ・ 子供達は休んでいられる場所や止まっていられる場所よりも動き回れるようなものを好むように感じました。
- ・ 他の班の物を見学して良い時間も、自分の作った物を自慢げにかつ、壊れないよう心配しながら見ている様子を見て、子供達にも自分が作ったものへのプライドや責任感があるのだと感じました。





実際に体を動かしてみる



みんなで話し合ってみる



描いたり貼ったり ...



模型をのぞいてみる



チームで発表！



成果品

